

愛知県公立中学校 校内研修会 協議会記録

2013年6月25日(火) 15:00~16:30

【グループ構成 A教員;20歳代 B教員;30歳代 C教員;40歳代 D教員;50歳代】

D-1: ついてねえよな

A-1: はい

D-2: あっいまとこだけなんだ。どっちでもいいよ。付箋がとぶか。どっち。どう、先生、あの、クーラー、付箋、

B-1: どっちでもいいよ

D-3: 覚えた。

D-4: おっ、コンピューターがある。

D-5: んなあほな

B-2: あっ、はい、それで。

D-6: いちおうここにもあるよ。これ電源。

A-2: あっ、大丈夫です、はい

C-1: まんなかに。

D-7: こうでこうだよ。でもさあ。

C-2: あっ、今日キトウ先生お休みです。

D-8 今日の90分のスケジュールはああいうスケジュールなんだよね。

C-3: そうです、4人です。全然わかりません。

他-1: もってってねー。

C-4: あっ、すいません。

D-9: まあまあごめん、いいわけ、一生懸命書いたんだけどさ。ほんとはなんも書いてないんだよ。

C-5: 7枚。

D-10: ピンク良かったね。

C-6: ピンクよかったです。ふふ。

司会1: ただいまより研究全体会を始めます。お願いします。(司会かな。

全体: お願いします。全体

宮下説明 3分

加藤先生自評 3分

宮下進行 3分

D-11: 数がけっこうあらへん?

C-9: ピンク。

D-12: ピンクからいってみます?

C-10: ピンクの生徒からいきましょう。

D-13: これとこれいっしょ。

C-10 : まずおなじようなものそろえてからやろ。

A-3 : なんなんすかねこれ。

C-11 : 口だけで説明してもよくわからんのだけど、先生がちゃんとその目の前のやつでもっかいやってって言ったほうがよくわかったなど。これは実験の流れだよ。

C-12 : これよおは、教材を例にとって。

B-3 : 使って。

C-13 : 説明した方が。

B-4 : 説明した方がわかりやすかったってこと。

C-14 : 教材を使って説明しようとしたのは先生じゃないの？

C-15 : 教材を使って説明しようって加藤先生言うから。

B-5 : じゃあ先生か。

C-16 : これはいっしょ？これはなんか先生が、目の前にあったやつでもっかいみんなに見えるように説明してって言った方がわかりやすかったなあと思って。最初からそうできるとよかったなって。

D-14 : これが一緒だよ。

D-15 : 要するに先生の、あれだよ。

B-6 : 先生の説明。じゃあ先生の課題？

その他2 : う〜ん。とかそのへん、一緒だよ。

その他3 : これはまた別だよ。

その他4 : ナカクンどう思う？

D-16 : それは生徒？

B-7 : これは生徒が、自分たちでここはだめだあって言ってたの。

その他5 : 話し合いの視点話し合いの視点は。

B-8 : 課題？

D-17 : じゃないかな。

その他6 : で上は終わり？今度下？

B-9 : 下。

B-10 : これと関わりがあるんですけど、根拠があるのでわかりやすい。

D-18 : これとつなげとく？

B-10 : はい。

D-19 : えー、模型、買ってない子への支援は、これとこれが逆になるんだよね。ヒサンルージュとかの手書きと、こことここセットでやっどく。理解できていない子たちもいっしょー。机間指導もいっしょー。

B-11 : 指示ですね、どっか指示がいる。

D-20 : なに？

D-21 : ああ、あんまりないねえー。

C-17 : 発表の声がちっちゃかったとかそんなのどうでもいい。

B-12 : これ？いやでも、生徒の・・・

D-22 : これはこっちじゃない？

その他7 : これなんて書いてある？

B-13 : 確かめの場となっていた。

C-18 : さっき言われた教科書の最後、最後、わかったうえで確かめるような。

B-14 : 再現するような。

C-19 : に近いんじゃないかなど。

C-20 : あれは、あっこから予想させるっていう場だったと思うんだけど、意図が。

B-15 : いいことじゃないの？

C-21 : 良くないから。だって教師の意図は、だって、あそこで予想するための動機をつくったんだよ。

B-16 : ああああ。

C-22 :なのに、多分さきに知ってる。

D-23 : ごめん、変える。

C-23 : 教材が転がせるかどうか注目と言っていた。

B-17 : ああ。

D-24 : ああ。

D-25 : じゃあこれと一緒にだ。

B-18 : 転がせるとどこに注目がいく？

C-24 : 輪を転がすっていったら、まあ、わあああって・・・

B-19 : これ予想が書けない。

B-20 : 書けない。

B-21 : これも。

B-22 : ちゃう、書けるけど、なんか結局言葉が足りない。なんとなくわかるんですけど。なんか足りないから伝わらない。

D-26 : うん、板書なんかもたりなかったね。

B-23 : もう少し改善、これは教材の対応。

宮下 : 児童生徒にとって、プラス面もう少しでてこなかったですか？

B-24 : 児童生徒にとって？

宮下 : ああ生徒にとって。

B-25 : 生徒にとって、生徒、生徒のいいところ、生徒にとってだったら、こっちにはってある教具がおもしろいとかも全部こっちだよ。

B-26 : 生徒にとってなんか。

D-27 : これが全部そうなるんじゃない。教具がおもしろい、教具の説明がわかりやすい。

B-27 : これも生徒にとって。

D-28 : これをこっちに動かしましょう。

D-29 : これもか？CMどうのこうのやつ。CMジェットコースターのやつ。

D-30 : テレビが見やすい。

B-28 : そうすると全部生徒になっちゃう。

D-31 : だよねえ。

A-4 : 真ん中に近づけとけばいいんじゃない？

D-32 : 近づけとこのへんを。

B-29 : どっちもだぜみたいな3

C-25 : 消しといてくれていいですと。もみ消しておいてください。なんじゃこれ。

D-33 : これはどこにいれたらいいんだろう。

D-34 : あの模型のときにすごいつぶやきでいいこと言っとるやつが何人かおったんだけど、全部する一と流れて。

B-30 : ふーん。

B-31 : けっこうこれって坂の下ならいいとか何人か言っとったんだけど、まったく流れてったもので。

B-32 : うーん。生徒にとってはつぶやきをとりあげてもらえる。

D-35 : でもその時点では先生がつぶやきを拾わなかったってことになる。

D-36 : 生徒が言った。生徒が悪いのか？

B-33 : いや。

D-37 : 違う、やっぱ先生だよな。先生だよね。

D-38 : 先生がそれをうまく拾えれば問題なかったんだよな。

宮下 : あのすなおる、グループと、ええやるときですね、上は同じ色にされるといいと思います。下はまた同じ色で。

C-26 : はーい。

その他8 : はいじゃあ下は、同じ色で・・・

C-27 : 導入で、導入とか書くんですか？

B-34 : 導入書いた方がいいですよー。

C-28 : 書いてもらってもいいですか？こっち側から書けないですよ、そんな器用に。

B-35 : 最後ののねこれは？課題の明確化、話し合う視点、話し合いの視点。

C-29 : 話し合う視点最初に決めたくないですか？あとで困らんように。

B-36 : 話し合いの視点でいいですか？

C-30 : 話し合う手立て。

B-37 : 学習課題と、生徒の感動が・・・

A-5 : 文字、もう少し大きめに書いてくれると嬉しい。前にあの発表するとき貼ったときに。

C-31 : 僕字汚い。

D-39 : なんや、なんて書くん？

B-38 : えっと導入って。

D-40 : でこっちが？

B-39 : 話し合いの視点。

C-32 : それなんて、何の話なん？

B-40 : 予想が書けない子の反動。

C-33 : できない子への対応や、理解が十分でない子への対応。理解ができない子への対応かな。

- C-34：理解が不十分な子への対応でいいんじゃないかな。
- B-41：理解が不十分な子への対応。
- B-42：予想不十分？
- C-35：予想が・・・
- D-41：助言。
- C-36：これもう教材の楽しさでいいんじゃない。
- C-37：みんな教材以外書いてるし。おもしろいんじゃない。
- B-43：色赤にしよ。
- C-38：え、俺の字でいいんですか？
- B-44：予想不十分、でも予想が良かったって書くの？
- その他9：いいんじゃない？場面場所によって、場面とかによって、ある部分は予想がすごく的確だったけど、ある部分は予想がちよっとずれちゃったかなっていう視点。
- C-39：難しいな。
- その他10：CMとジェットコースターのところ。CMはCMと分けた方がいいのかな？
- C-40：実験に夢中。
- その他11：ジェットコースター、ジェットコースター。
- B-45：でも導入ですよ先生それ。
- C-41：子どもの発表でまとめていい？
- C-42：実験に夢中ってことはいいよね、教材に夢中ってことで。
- B-46：わからなーい。
- D-41：教具の説明でいいんじゃない。
- B-47：教具の説明？
- B-48：えっと、説明、説明。
- C-43：ここもじゃあ説明でいい？説明でよかったここ書いて？
- B-49：これも説明にすればよかったと思う。
- C-44：生徒の。
- B-50：説明の仕方？
- C-45：とかつなぎかた、スピードが足りないってことに対して、他の子がスタートの位置を変えたからっていう。
- C-46：えっと説明の仕方でもいいですか？話す技がいいですか。
- C-47：話すわざがいいですか？
- D-42：導入、導入ジェットコースターのあのくくり。
- A-6：つぶやき？
- B-51：つぶやき？
- D-43：子どものつぶやきを教師が拾えたか拾えなかったか。
- D-44：このへんにつけといて。
- C-48：うそー。
- B-52：うそじゃないほんと。

B-53 : なおさらないですよね。
D-45 : これは上下でつなぐの？
A-7 : これをつなげます。
D-46 : これをこう上下でつないで、つなげれるところはつないでいったほうがいい。
D-47 : このへんなんかこういくし、ここもこういくし。
B-54 : こうやってつなげないとね。
A-8 : ジェットコースターだと上ばっかいつちゃう。
B-55 : ループで。
D-48 : よしこれひとつ小さくしよ。ごめん。
A-9 : あっはい、ありがとうございます。謎女
B-56 : うふふふふふふ。
A-10 : 運動？
B-56 : 運動？
A-11 : ブランコ。
D-49 : なんでもいいでいつちゃえー。
A-12 : 縦につなぐのが難しい。
B-57 : 難しい。
A-13 : こここうやってつないで。
B-58 : ここがループ。
B-59 : おかしいなあ。
C-59 : いや、全然いいと思います。ジェットコースター描いとけばいいですよあとここに。大丈夫です。
B-60 : 上にいてほしいってことだね。
A-14 : このへんからスタートしいの。
D-50 : いつちゃって。
A-15 : とんでけー。とんでけー。
C-60 : すごいテンションで今ごまかしてますけど。
D-51 : ジェットコースター描いときゃいいじゃんこのへんに。
A-16 : ジェットコースター？
D-52 : 乗るときゃいいじゃん乗り物に。
A-17 : 乗り物描いて。
D-53 : こらこらこらこら。
C-61 : 黄色っていうのがいいですね。
D-54 : なんかな言っとるよ。
C-62 : 人間ですね。あっ棒人間。こいついらんやん。
A-18 : あっはははははははは。
C-63 : 立体感がないよ。
A-19 : 落ちないようにいかにみんなが乗るかが。

C-64 : ジェットコースターじゃないよこれ。サーフィン。
A-20 : ひどい。
C-65 : ちょーへたくそ。
A-21 : どうやってまとめていいんだか。
C-65 : ジェットコースターに勢い付けて。
A-22 : 勢い？
D-55 : 上からみたらこんな感じでびゅーんと。
B-61 : あっ、きたーってかんじだね。
C-66 : いや俺も思った。
宮下 : これは今日のあれ、ループ？
A-23 : はい、そうです。
宮下 : ああ～あ、なるほど。なにかなって一瞬思っ
宮下 : ループがちょうどこの島をかねてんですね。
D-56 : これ近づいちゃうの？
B-62 : 近づかないと、いいほうにいかないよ。
D-57 : いいほうにいかなかんね。下に降りてっちゃかんでしょ。
C-67 : だめやんもう。めちゃめちゃやん。
C-68 : 向き変えようないじゃん。
C-69 : なんかモンゴル人みたいになってるよ。
D-58 : はははははははははは。
B-63 : はははははははははは。
A-24 : はははははははははは。
D-59 : これとこれがこれでつなげれるなら。
D-60 : これとこのへん。これとこれ一緒でしょお。
D-61 : これって教材でしょ。
B-64 : はい。
D-62 : ちょっとお。
B-65 : はい。
D-63 : 予想不十分なのは、ここなのかな？これとこれはつなげれるでしょ。
C-70 : これ全体は。
D-64 : びゅーんととんとんとんとんとんと。
C-71 : びゅーんって。
D-65 : まぜであげて。
C-72 : ジェットコースター色変えましょうよ。
D-66 : 任した。
D-67 : さっき黄色から、緑に変えたから、今度は・・・
C-73 : 今度上に昇って行くんですよね？
A-25 : そうそうそうそう。

D-67 : そうそうそうそう。

C-74 : 感覚まったくないんですよ。

B-66 : はははははははははは。

D-68 : ちゃうちゃう、数学でき、数学で、直方体とか描かへん、こうななめに。

C-75 : まったく描かないですね。

B-67 : えーやだー。

D-69 : こことここつなげちゃえばよくない？

B-68 : ここ？

D-70 : うん、一緒にいいと思うよ。

B-69 : ここにのせて。

B-70 : うっふふふふふ。

宮下 : で、だいたい絵も終わった段階で結構ですから、あの課題についての改善策を一つひとつについてあげてください。で、一番最後、ここですね、あのーこれ全体のえーまとめた言葉、キャッチフレーズ。

A-26 : キャッチフレーズ。

B-71 : キャッチフレーズ。

宮下 : 自分たちのこの分析を、えー一言で表現するとどうなるか。

C-76 : 負のエネルギーを正のエネルギーに変換できる。それでいきましょう。変換がキーワードだから。

A-27 : 負のエネルギーを、えっとなんだった。

C-77 : 正のエネルギーに変える。ダメエネルギーを上手エネルギーに変換するとか。

B-72 : はははははははははは。

A-28 : チェックはいったチェック。

D-71 : でも、いいんじゃない、マイナスからプラスヘジェットコースターが動いてるから。きれいにこことここが対比する形になってるやん。

B-73 : 負のエネルギーを正のエネルギーに変換！ふふふふふふふふふ。

D-72 : 改善策。

B-73 : 改善策を考えるの。

C-78 : 改善策か。どっからいきます？この改善策。

D-73 : こいつはすぐ終わる。これとかつなぐだけで。

A-29 : うーん。

B-74 : 生徒の予想が不十分なこと？じゃあ教師の支援をよくする。んん？

D-74 : これがあるこれがある。ここにつなげばいいじゃん。

A-30 : それか別に、うーんと、教材と触れ合う時間をもうちょっと増やす。

D-75 : ああ。よし。

C-79 : するとここできれいにわっかができるから。いっちゃえー。

C-80 : いっちゃえー。

A-31 : へん??

C-81 : いや全然いいですよ。よくわかってないんで。もう僕にはわからないんで。

A-32 : 助言とつなげたほうがいいですか？

D-76 : 机間指導でやっとするじゃん両方とも。だったら、もうちょっと。

A-33 : 予想のための時間があるといいかなーっと。

D-77 : そう。あと、教材をもうちょっと工夫すると。

A-34 : 急かなジェットコースター？

D-78 : でもね、もっと急なジェットコースターもある。

B-75 : 書く？てんてんてんって書いてく？

C-82 : なんかい言葉ないかなあ。

B-75 : 何？

C-83 : 教材作る時間と予想を考える時間を分けるって難しいかな。

B-76 : ちょごめん、前半見てないんだ私、いないんだわ。

C-84 : 説明の仕方では何がダメだったと思う？

A-35 : うーん、言葉でばあーっと言われてもちょっと分からんところがある。

C-85 : どの段階で？

A-36 : おもしろいところ。

C-86 : おもしろいところか。

D-79 : ここひゅーっとつなげれるよ。

A-37 : うん。

B-77 : あっことここだよ。

D-80 : うん。ここはもし教具を使って例えば説明するんだったら、生徒がもう全部使えばいいから、一本線つないどけば、模型を工夫すればこうできるよって。

B-78 : てんてんてん。

B-79 : あとは、ここ、机間指導。

B-80 : 話し合う前の実験とかだよ。

B-81 : ノート書いてるもんね。

D-81 : そこでノートとってないから、声をかけた方がいいんじゃないかなと思って。

C-87 : でもなんか言ってませんでした。班で話し合えばいいよとか。

その他12 : うん言ってた。あの一番後ろの一番奥の班が、あの一話し、みんなおとなしい子ばかりそろってたもんで、こうやってやるといいよって言ったけども、なんにも始まらないみたいな雰囲気だって、あのときにやっぱし、声かけてアドバイスするほうが、確認まではせずにずっと通り過ぎていっちゃったもんで、結局何も始まらないみたいな。

D-82 : 結局あのアドバイスで1人だけ賢い子が理解して書き始めたけども、あとの3人は。

その他13 : そうだったね。

A-38 : 結局話し合う時間が微妙なんですね。最初からグループで話し合ってから始めた方が。謎女

C-88 : けどなんか、指導案読むと、あとの話し合いのために、最初1人の意見をもって、あなたは
どう思うっていう。

D-83 : 話し合うための土台を作らせると。

- C-89 : はい、そうそう。必ず参加させたいっていう意識があるもので、一人一個意見をもってねっていう。それも多分授業中強調されとったと思う。
- D-84 : でもそれだったら、やってみると根底に考えが無いとあかんもんで絶対に。
- C-90 : それはちょっと難しかった。
- B-82 : 全員は無理。
- C-91 : はーい。
- A-39 : 最初導入だもんで難しいですよ。
- D-85 : できるならこまめにね。できてないところにこまめにまわってやって声かけてけば。
- B-83 : できる子に対しての助言はできてたけど、そうじゃない子への助言がなかった。
- D-86 : そっちの方が話もりあがとったもんね。
- C-92 : 最初にさあ、全然関係ないけど、教師が一個指定したモデルを作らせて、おんなじ実験みんなして、でそれで意見をちょっと予想させる場面をつくって、予想じゃないけど、意見をなんていうの、それについて考察させた後、いっきにじゃあ作ってみよう、とかのほうが、なんか結局、止まる時間がないっていうか、じゃあ次やってみよう、なんも分かってない子はなんか次々場面が写って行って、ああ転がった転がったで終わっちゃうもんで。
- C-93 : 例えば予想をさせるために、同じ土台にのせるための工夫がいるんじゃないか。それは教材のときに一個作って。
- D-87 : みんな同じのを。
- C-94 : 一回やって。
- C-95 : 考えを手にして、じゃあいろいろやってよう。
- B-84 : 共通な模型で考えよう。
- A-40 : 考えよう。
- D-88 : それをしようとちょうどそれ俺ちょうどこのへんで書いといてあるけど、あれなんだよ、議論ができなくて、それだけで終わっちゃう。
- B-85 : はいはいはい。聞くので必死でね。
- D-89 : 考える時間が無い。
- B-85 : 作るのに必死になるんじゃなくて、考える時間を十分取ってあげて、助言をすると。3
- D-90 : あとは、最初のジェットコースター。
- A-41 : ちょっと言葉が足りないかったから、多分考え方はあってるんだけど、言葉が足りんうえに、違うことになっちゃう。
- C-96 : 発表の声が小っちゃかった。
- B-86 : 声がちょっと小さかった。
- C-97 : 普段の指導じゃないの？
- D-91 : そうそう。教室に貼ってあるやつ。なんだったっけ。
- B-87 : 3つの話すやつ。
- A-42 : そうそう3つ、3つだよ。
- C-98 : 3つ。話す技。
- B-88 : 話す技は話す技の、3つの。

D-92 : 話す技は。
B-88 : ルールみたいなのが書いてあって。
C-99 : 吉良中3つのなんか話し方つつうのがあったじゃないですか。
B-93 : 3つのルールは、はい、とかみんなに聞こえる。声の大きさ。
C-100 : 相手の方を見る。
C-101 : 3つのルールってどこから、指導の徹底。
B-94 : 話すについては具体的に、似ていてとか。こっちが話す技。
D-93 : えじゃあこっちは声がってことで、3つのルールっていうふうで。
B-95 : うん、3つのルール。
D-94 : みんなジェットコースターなんだな。
A-43 : ふふふふふふふ。
A-44 : あっ、先生付箋の箋が違う
C-102 : 戦ってる人は違うなあ。
B-96 : あし二だねあし二。
A-45 : あしに、ちょんちょんちょん、ぽんぽんぽん。
B-97 : 先生見てると戦いたくなる。
C-103 : どういうことですか、敵ですか。
B-98 : ここ20代がないんですね。
D-95 : うんそれでいいそれでいい。
D-96 : はい、じゃあ最後で一す。あとここで一す。
B-99 : え、ここお？
D-97 : ここのところ。
B-100 : はい。
B-101 : 完成。
宮下 : じゃあ是非発表の練習をしてみてください。
B-102 : 発表の練習！
宮下 : もう決まっていますか発表の人。
A-45 : 一番若い私が。
B-103 : ははははははは。
宮下 : 自称でかまいませんから。
C-104 : ええー。まあナオキ先生の方が若いんで、若く見えますけど。
D-98 : どうする？
A-46 : 無視無視。
D-99 : はいじゃあやってください。
A-47 : えーどうやって発表していいかわかんないーい。
C-105 : 今ちょっと自分でちょっとかわいこぶっちゃって。
A-48 : かわいこぶっちゃった。かわいこぶっちゃって気持ち悪くなっちゃった。
C-105 : よかった気付いた？

- A-49 : 気付いた気付いた。
- C-106 : 数学女こわーい。
- C-107 : 発表って何を発表すんの？
- A-50 : どうやって発表すりゃいいの？
- C-108 : まずタイトル言って、でこの分け方をまず言うんだよ。こういう意見が出ましたって。3分で。
- C-109 : え、でもこの改善点に沿って。
- A-51 : これと、これと、これと、ここですね。
- C-110 : うん。
- D-100 : 教材から広がってくとこと、様々な話し方で推すところ。で、これはこれで。ここを広げていくのがいいかなと。話し方系で一個。
- A-52 : 話し方系で一個。
- D-101 : 机間指導系で一個。
- A-53 : 机間指導系で一個。
- D-102 : あとは、そんなもんかな。
- D-103 : もしなんか言われたら、さっき先生が言われたので、あえて厳しい目でみんなで見ましたと。聞かれたらね。
- B-104 : ふふふふふふふふ。
- A-54 : マイクチェックしてる。
- D-104 : 説明しようとしてくれてるじゃん。
- A-55 : えええ！？
- C-110 : 違う違う、導入は書いたのかな改善点。
- D-105 : あっ、これだけ抜けとるね。
- A-56 : 導入。
- B-105 : ちょっと長がったかな。
- D-106 : せっかくあそこでいいことでとったんなら、後半とこで戻してくれてもおもしろいかなと。
- B-106 : 導入の活用。
- A-57 : 活用ね。
- C-111 : 俺全然分かってない。
- B-107 : 上手じゃん。
- C-112 : いやわかってない。
- D-107 : 自分が授業やったらねと考えるとね。
- A-58 : 1時間で実験教えるって難しすぎる。
- D-108 : 予想させるには調べてないとできないもんね。
- A-59 : うーん。
- C-113 : 私は若いなって強調したいから説明する苦勞とっちゃった。まいりました。
- D-108 : 二人で発表してもらえばいいからね。
- A-60 : じゃあ二人でいきますか？

C-114 : いや、ほんとわかってないんやて。ちょっとよくわかってない。

A-61 : これなんでしたっけ？

C-115 : 話す技でしょ。

A-62 : こっちのやつをいい方向に変換しましょうってことですよね？

C-116 : そうそう。

D-109 : 前でかわいくやってこればいいじゃん。

C-117 : れれれのおじさんって言われる。

C-118 : 20代ですよ。ていうか20代でしょ。

C-119 : 余裕ですよ。俺だったらほんともっとてんばってる。全然だって余裕じゃないですか。

A-63 : えっなにがー、ほんとなにがー。

C-120 : えっだってまとめるのとか得意じゃないですかー。

A-64 : ああ頭痛い。

C-121 : マキノ先生めっちゃ書いてるじゃないですか。

C-122 : めちゃめもってるし。その辺が20代じゃない。

A-65 : ええそう。

宮下司会(59分代)2分

C-123 : 最後の前だね。

A-66 : 最後だよほぼ。

(1班発表)61分～

C-124 : お願いします。

65分終了

C-125 : うまいねえ。

宮下司会(65分)1分

(2班発表)66分～

72分終了

(3班発表)72分～

75分終了

C-126 : 次だ。

(4班発表)76分～

78分終了

(5班発表)78分～

A-67 : 皆さん期待のワク先生ではなく一番若いわたくしが発表したいと思います。発表させていただきます。加藤先生の授業すごいいとこたくさんあったんですけど、あえて青い方の付箋を1枚貼らせていただきました。数学が3人いましたので、どうしても負と正というの大好きですので、負の方から正の方のエネルギーへグルグルと変換ということで、テーマを決めました。えー、話す技についてですけども、吉良中にある3つのルールをもう少し実践していくと、さらにもう少し声が大きくなったり、話し合いが活発になったり、言い活動になったりしてくるんじゃないかなと思いました。あと、同じように説明の仕方

についてなんですけども、話す技、なになに君に似ていてとかっていうのも使っていけると、より説明に具体性が出てくるのかなと思いました。あと、どうせ説明をするのであれば、すごい素敵な教具がありましたので、その教具を使って説明するといいいんじゃないかなと思いました。ええっと、導入部分はいいいところがたくさんありましたので、で、あのCMの中にもエネルギーの変換という言葉がありましたので、最後変換という言葉を使えると、導入を活用できるとよかったかなというふうに思いました。そして、ちょっと予想不十分な生徒も確かにいましたので、えー、時間を十分にとるといいと思うんですけど、今日はみんな作るのに一生懸命になっていたり、やっとな一周回ったと思ったら、次の班の人にちょっとそれ貸してくれくれ、つなげようぜということで、えーしっかり予想を立てる前に合同になってしまったりしていたので、もし可能だったら、共通な模型で考えるともう少し位置エネルギーと運動エネルギーについてしっかり考えて予想が十分に立てたのではないかなと思いました。あと、えー机間指導もほうもすごい丁寧にされていましたけど、先生が回られているときはいいんですけど、回られた後にまたちょっとわからなくて、ノートに書けないっていう子もいましたので、こまめに巡視をするといいいのかなというふうに思いました。私も、ぜひ勉強して、負のエネルギーを正のエネルギーに変換したいと思いました。以上です。

81分終了

(6班発表)81分～

84分終了

宮下司会 84分～92分

校長御礼の言葉 93分～94分

以上で研究全体会を終わります。有難うございました。 司会

有難うございました。班のメンバー